



ごあいさつ

チャイルド・リサーチ・ネット (CRN) は、子ども達をめぐる諸問題、特に育児・保育・教育に関係して広くインターネット上で情報交換し、解決の道を研究する「子ども学研究所」として、日本語サイトを1996年に設立しました。国外との情報交換のために、英語サイト(1996年～)、中国語サイト(2005年～)も活動しています。また、インターネット上だけでなく、中国を中心とした東アジアとの子ども学交流プログラムなど、子ども学を柱にした研究活動を開催しております。

子どもの問題に関心をお持ちの方なら、どなたでもまず CRN にアクセスしていただきたい。年齢や性別はもちろんのこと、研究に重要な学問の専門分野が何であってもよいのです。いろいろな学問分野の方々に参加する学際性こそが子ども学であり、CRN にとっては重要なのです。また、親御さんのような、子育ての現場の方にもご発言を期待しています。それが問題解決に重要なヒントを与えることが多いからです。

検討する問題が何であるかは、アクセスされる方々によって決まります。どうかご関心のあるテーマをご発表ください。共に子どもにとってより良い解決法を探りましょう。



チャイルド・リサーチ・ネット所長

小林 登

活動履歴

- 1996** ・日本語・英語サイトオープン
・シンポジウム「マルチメディア社会の子どもたち」
- 1997** ・シンポジウム「中高生のデジタルな友達づくり」
・ジェーン・グドール博士講演会
・ジェイ・ベルスキー博士講演会
- 1998** ・英語サイトリニューアル
・国際シンポジウム「メディアは子どもをどう育てるのか？」
・ジェーン・グドール博士講演会
・CRNサイト「WEBデザインアワード」銀賞受賞
- 1999** ・公開座談会「学級崩壊はしついでくいとめられるのか？」
・国際プレイショップ「PLAYFUL」
- 2000** ・公開座談会「『学校』と『家庭』を結ぶもの」
・プレイショップ「Feel the Media」
・国際シンポジウム「21世紀の子育てを考える」
- 2001** ・プレイショップ「ふゆものがたり～プレイフルストーリーをつくろう」など
・研究拠点「ながやまチーきち」開設(～2002年)
・音のワークショップ(～2003年)
- 2002** ・CRN 実践保育研修会「保育の質を考える一心とからだを育む視点から」
・プレイショップ「カラフル王国で遊ぼう」など
・CRN メンバーサイトオープン
・「子ども学研究会」発足(～2003年)
- 2003** ・日本語サイトリニューアル
・「日本子ども学会」設立
・ワークショップ「こがねいメディアキッズ」(～2005年)
- 2004** ・「第1回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)
・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイスタート
・中国の子ども研究機関を訪問(中国 北京)
- 2005** ・中国語サイトオープン
・「第2回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)
・宋慶齡基金会の招聘を受け小林所長が講演(中国 上海)
- 2006** ・子どもの健康に関する学会にて「食育」をテーマに分科会を開催(中国 長春)
・「第3回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)
・中国政府主催のシンポジウムにて小林所長が講演(中国 上海)
- 2007** ・CRN設立10周年記念国際シンポジウム開催
・「第4回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)
・第1回 東アジア子ども学交流プログラム開幕式(中国 上海)
・第1回 東アジア子ども学交流プログラム集中講義・幼児教育展覧会開催(中国 長沙)
- 2008** ・日本語サイトリニューアルオープン

所在地

〒101-8685 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング15階 (株)ベネッセコーポレーション 内

運営体制

所 長: 小林 登(東京大学名誉教授、国立小児病院名誉院長、
子どもの虹情報研修センターセンター長)

顧問: 石井 威望(東京大学名誉教授)
コーディネーター: 劉 愛萍(ベネッセコーポレーション)
松本 留奈(ベネッセコーポレーション)

CRNは株ベネッセコーポレーションの支援のもとに運営されています。Benesse®

第15回社会保障審議会
少子化対策特別部会
平成20年10月22日

参考資料5

Welcome to **CHILD
RESEARCH
NET**

チャイルド・リサーチ・ネット
<http://www.crn.or.jp/>

チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)は、
子ども学(Child Science)の研究機関です。

インターネットによるネットワークと、シンポジウム、講演、プレイ
ショップなどの研究活動を通し、世界中の研究機関や研究者と交流
しながら、子どもを取り巻く諸問題の解決に取り組んでいます。



English <http://www.childresearch.net/>
中 文 <http://www.crn.net.cn/>